

H30年度第2回中野市保育所運営審議会

平成31年2月22日（金）午後2時00分

中野市役所会議室53（5階）

4 審議事項

2019年度中野市利用者負担額（保育料）等について

中野市保育所整備計画について

委員 国の基準よりも低い水準で保育料が設定されているし、近隣市町村との情勢も考慮されているので、細部については特に意見はないが、保育料に関して、払えない状況にある家庭はあるのか。

そのことに関して、どのような対応をされているのか。

事務局 現年度の収納率は99.4%となっている。

委員 だいたい何名に相当するのであるか。

事務局 児童数1,160名からすれば、7～8名程度となる。

各家庭の所得の状況に応じて保育料が設定されている。中には保育料が全額減免されているので、苦しくて支払えない方は多くないと認識している。

所得のある方でも、保育料を滞納されている方はいるし、過去にもいた。

委員 中野市の保育料は他市町村と比較してどの程度なのか。

事務局 細部が分かる資料は持ち合わせていないが、所得の低い方に対する保育料の設定は県下ほぼ同一であると考えている。

それは、数年前までは国の基準よりも中野市が先行して保育料を低く設定していたが、国の基準が追いついてきて今は国と同じ額の設定となっている。

他市町村も同様の動きをしているので、同一であると考えている。

4階層以上の方の保育料については、県下の中でも高い設定をしているとは考えていない。

委員 保育標準時間と保育短時間で保育短時間の方が安いというのはどういうことか。

事務局 現在、国で決められている保育時間は、AM7:30～PM6:30の11時間を標準としている。私たちが昔お迎えをされていた、していたAM8:30～PM4:30を短時間保育時間としている。そのため保育短時間の方が安い設定となっている。

。

委員 特別な支援を必要とするお子さんには保育士が別に加配されていると思うが、保育料はどうなっているのか。

保育料とは別に費用がかかるのか。

事務局 現在、保育所に加配を必要としている児童は在籍している。その方の保育料についても、他の児童と同様に世帯の所得で保育料を定めており、追加で保育料を徴収はしていない。

加配保育士については、雇用するので市としての支出は増加するが、国からの交付金（交付税）で措置されている。

保育所整備計画についての質疑なし

5 その他

委員 整備計画の中にもある多様化する保育ニーズに対応すると記載されている。

海外から見えた方も中野市で子育てをすることも多くなると思う。

小学校就学前の年齢の児童がいらっしゃる世帯数はどの位あるのか。

事務局 資料としては持ち合わせていない。

毎月、市民課で人口統計を取っているので、そこから児童数は把握できると考えている。後日、答申書の写しを送付する際に対応させていただきたい。

（後日 2月1日現在で、外国籍で5歳児以下が19名いる事伝える。）

委員 情報が伝わりにくいのではないかと感じている。外国籍の方への情報提供はどうなっているか。ニーズ調査も含めてお願いしたい。

委員 施設面に関してもユニバーサルデザインで作られていることがわかる。

そういった事も引き続きお願いしたい。

事務局 各課でそれぞれの行政サービス（乳幼児健診、支援センター、保育園等の入所、小学校への入学）を提供している。一人の児童に対して切れ目なく支援をしていくことは以前から取り組んでいるところであるが、足りない部分については反省し、これまで以上に課を超えて連携を取っていきたい。

委員 今後も引き続き連携をとって行ってほしい。